



## Log Partition Monitoring の設定

---

Log Partition Monitoring は、設定済みの次のしきい値を使用して、1 台のサーバ（またはクラスタ内のすべてのサーバ）上のログパーティションのディスク使用状況を 5 分ごとにモニタします。

- **LogPartitionLowWaterMarkExceeded** (ディスク使用率 %) : ディスク使用率が指定のパーセンテージを超えると、LPM はすべてのアラーム メッセージを `syslog` に送信し、RTMT Alert Central にアラートを送信します。ログ ファイルを保存し、ディスク スペースを回復するには、RTMT の `Trace and Log Central` オプションを使用できます。
- **LogPartitionHighWaterMarkExceeded** (ディスク使用率 %) : ディスク使用率が指定のパーセンテージを超えると、LPM はすべてのアラーム メッセージを `syslog` に送信し、RTMT Alert Central にアラートを送信します。

## Log Partition Monitoring の有効化

Log Partition Monitoring を有効にするには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified CallManager Serviceability で、[Tools] > [Control Center - Network Services] の順に選択します。
  - ステップ 2** [Server] ドロップダウン リスト ボックスから、ディスク使用状況をモニタする対象のサーバを選択します。
  - ステップ 3** [CM Services] の下で、Cisco Log Partition Monitoring Tool (LPM) の状況を確認します。
  - ステップ 4** LPM が実行されていない場合は、[Cisco LPM] の横のオプション ボタンをクリックし、[Start] ボタンをクリックします。
- 

## Log Partition Monitoring の設定

Log Partitioning Monitoring を設定するには、[Alert Central] で、LogPartitionLowWaterMarkExceeded アラートおよび LogPartitionHighWaterMarkExceeded アラートのアラート プロパティを設定します。[P.8-4 の「アラートプロパティの設定」](#)を参照してください。

### 追加情報

[P.13-2 の「関連項目」](#)を参照してください。

## 関連項目

- 『Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド』の「Log Partition Monitoring」
- [RTMT でのアラート設定 \(P.8-1\)](#)
- [RTMT のトレース収集とログ集中管理 \(P.10-1\)](#)